

徳島市立男子 3連覇

女子は城北がPT戦制す

ハンドボール

県高校選手権

ハンドボールの2018年度徳島県高校選手権最終日は15日、徳島市立体育館で男子準決勝と男子決勝が行われた。男子は徳島市立が43-15で

城北を下し3年連続9度目の頂点に立った。女子は延長でも決着がつかずペナルティスロー(P.T.)戦で城北が池田を4-2で破り、3年ぶり16度目の栄冠を手にした。

【男子】準決勝 徳島市立41-10徳島科、城北20-17城南▽決勝

徳島市立は、対戦相手点も多く、失点を少な

で勝利に貢献した森内主将は「練習してきた速攻重視の成果を出す事ができた」と喜んだ。

開始直後から主導権を握り、5連続得点などで波に乗ると、守っては城北に2度しか連続得点を許さず、最後まで攻めの姿勢を貫いた。一方で15失点には不満も残した。森内主将は「守備で慌てる場面があった。1試合を通してもっとミスを少なくしないとけない」と反省を忘れなかった。

昨年のインターハイでは粘りを見せたものの1回戦で敗れた。現チームが見据えるのはあくまで全国での勝利。この日の大勝にも気を緩めることなく、さらなる高みを目指す。

男子決勝・徳島市立対城北 前半14分、徳島市立の四十宮がシュートを決める

(石崎義典)



攻めの姿勢貫く 徳島市立

【評】徳島市立が攻撃を重ね、前半で13点差を突き放した。城北は主将の田中が9得点を挙げるなど気を吐いたが及ばなかった。